

「第2回国際理解展示会～Peace for Tomorrow

広げよう 平和の心～」の開催について

副会長兼事務局長 山崎 貞幸

昨年度に引き続き、第2回目は8月7日(日)午前10時より午後3時まで高崎市中央公民館集会ホール及び視聴覚集会室にて開催。コロナ禍により「国際理解バス」の代替事業ではありますが、前向きに検討、改善・前進ができたと自負しています。世界各国に目を向けた協力会員及び役員、また高経大ACTクラブ、高商大、白鷗大(市役所インターン)の学生ボランティアの皆様のご協力に感謝いたします。少しでも市民の皆様にご国際理解のお手伝いのできたのなら本望です。

来場者72名の声の中には、様々な感想が寄せられました。「思っていたよりたくさんの国々を見ることができた」とか、「また機会があったら展示会を開催してほしい」等々、普段見られないものへの憧れ、実際の体験に基づくお話や実物に触れて得た発見や感動が見られました。特に、小・中・高生の喜びや楽しみの様子がわかる率直な感想はとても嬉しいものでした。有難うございました。



今回の特徴として、前回の展示よりも少しでもグレードアップさせようと、展示会場となった集会ホールの周囲の壁を使用して、中尾中学校美術部協力によるSDGsの環境をテーマとした大規模な壁画作品の下絵展示から始まり、ホール内部では、世界約30か国を各州・大陸ごとのエリアに集め、各国コーナーでも創意工夫した展示が目立ちました。そして、「読書コーナー」のスペース、ユネスコスクールの掲示物、ウクライナ募金の設置、高崎ユネ

スコ協会の世界寺子屋運動コーナーも設けました。

受付では、コロナウィルス感染予防の安全対策とSDGsの関係資料を配付しました。また、視聴覚集会室も会場として、幅広く多角的な催し物を心掛けました。国際理解をねらいとしながらも、役員によるアルパ演奏の披露と来場者への参加実演の試み、高崎ユネスコ協会の活動状況の掲示や創立50周年記念「高崎ユネスコ協会50年



の歩み」のビデオ放映も継続しているところです。

今年度も事前に担当部署が考え、提案し、理事会で話し合い、検討して運営する方向で役員・ボランティア等の皆さんに協力を



お願いいたしました。次回は SDG s 達成とその充実を目指し、これまでの展示会を踏まえて、更なる改善策をもって進めたいと考えています。引き続きの国際理解展示会を望む声が聞こえる中、コロナ禍解消後の国際理解バス再開をも期待しているところです。「継続は力なり」の実践を身にしみて感じています。